

2026年4月1日

## 総合研究所（略称：信金中金総研）への名称変更について

信金中央金庫  
総合研究所長 大野 英明

地域・中小企業研究所は、中期経営計画『SCB ストラテジー2025』に基づく経営戦略の一環として、このたび名称を「総合研究所」に改称いたしました。

中期経営計画では、「地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ」という想いを掲げ、地域社会が直面する人口減少・少子高齢化、中小企業の経営課題の多様化、地域間格差の拡大といった困難な課題へ、信用金庫グループが一体となって取り組むことを宣言しております。

特に、ストラテジー2「地域の持続可能性の向上」においては、地域のレジリエンスと持続可能性を高めるために、中小企業のみならず、個人の資産形成・承継、環境対応、地域コミュニティの再生など、社会課題への包括的なアプローチが不可欠です。こうした広範な役割と研究対象をより適切に象徴するため、名称を刷新することといたしました。

新名称「総合研究所」には、以下の目的と想いが込められております。

### 1. 研究領域の拡大と深化

地域社会の複合的な課題を金融の視点から横断的に研究する体制を明確にします。中小企業支援に加え、個人の生活設計、脱炭素、DX、人材育成など、持続可能な地域づくりに資する幅広いテーマの調査研究・提言を行ってまいります。

### 2. グループ一体となった価値創出への貢献

ストラテジー1「信用金庫の経営基盤の強化」で目指す、信用金庫が「地域において最も信頼される金融機関」としての地位を確立するため、コンサルティングや人材育成を支える高度な知見・ノウハウの開発を、より強力に推進してまいります。

### 3. ネットワークの強化と新たな協働の促進

学術機関、政府関係機関、シンクタンクなど、多様な外部機関との連携を一層促進し、地域課題解決に向けたシンクタンクとしての機能を強化いたします。これにより、信用金庫業界が地域経済社会の成長を牽引するための、実践的なコンテンツを提供してまいります。

「総合研究所」は、単なる名称変更にとどまらず、本中金が中期経営計画で掲げる「信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する」という役割を、調査研究の面から具現化するための重要な一歩であります。

今後とも、全国の信用金庫ならびに地域のステークホルダーの皆様と緊密に連携し、地域のリアルな声に耳を傾けながら、未来を見据えた実践的な研究活動を展開し、その成果を還元することによって、地域の持続可能な発展と、地域金融のさらなる進化に貢献する所存です。

何卒、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。